

の訓練です

「ただちに救出にむかえ！」

訓練1

鹿児島県北部を震源とするマグニチュード7.0の地震により、伊佐市で震度6強を観測、これにより建物倒壊および車両事故が発生、人的被害も発生している。



倒壊建物内に数名の要救助者が取り残されている。建物側面からの進入は困難と判断。屋根部分からの進入を行い、救出活動を開始。
倒壊建物内は柱や壁が散乱していて、これらを切断・除去しながら要救助者を検索・救出する。



現場対策本部は、救出作業の長期化を想定し、伊佐市医師会に医師の派遣を要請した。依頼を受けた医師および医療スタッフは、現場に出動。傷病者のトリアージ（治療の優先順位決め）・治療を行う。



現場は、救出、治療・搬送が繰り返されていた。

救急隊は、医師の指示を受けながら医療機関（仮想）までの搬送を繰り返し行う。

必要に応じて、ドクターヘリの要請を行う。



これは、「救急の日」

訓練2

通報…「走行中の車両が土砂に押されて、崖下に転落している」
倒壊建物の検索および救出が終了した頃、
通報があり緊急出動。



車両は損傷が激しく、ドアの開放は困難。

屋根の除去作業を行い、要救助者を救出。

建物倒壊現場の救助所に搬送した。



無事救出

9月9日は「救急の日」です。この日を含む1週間（日曜日から土曜日）を「救急医療週間」として、全国各地で救急に関する行事が実施されています。

伊佐市でも、9月15日に「大地震による倒壊建物災害」と「車両事故」を想定し、関係機関との相互連携を保持するために、情報伝達・救助・救護・搬送などの訓練を大口元気こころ館で実施されました。

病気、事故、災害などは「いつ」「どこで」起こるか予測できません。訓練を通して、医療機関・消防署・行政の連携を強化し、さまざまな救助技術・知識の向上に努めていきます。

みなさんも、いざという時に冷静な判断ができるよう地域の防災訓練には積極的に参加しましょう。

訓練だということ
を忘れるほど緊迫した
状況が続く



負傷者役も真剣



すごく緊張感ある訓練でした。



看護学生さん

